

# 令和元年の火災発生状況

令和元年の火災件数は28件と平成30年の32件に比べ、4件減少しました。しかし、建物火災が22件と圧倒的に多く、うち17件が住宅火災で建物火災全体の77.3%を占めています。火災による死者数は、建物火災により3人が亡くなられ、死者が発生しなかった前年に比べ増加しました。

住宅用火災警報器を正しく設置していれば、大事に至らずに済んだ可能性があります。逃げ遅れを防ぐため、何より大切な命を守るため住宅用火災警報器を設置してください。

また、すでに設置された住宅用火災警報器は、月に1回ボタンを押したり、ひもを引いて正常に作動するか確認してください。住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に交換しましょう。

**日常の火の取り扱いには十分注意し、必ず火の元を点検する習慣をつけましょう。**

## 地区別火災件数

区分 地区名	件数	件数の内訳						焼損棟数				死傷者数	
		建物	住宅火災	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者
両津	7	6	4	1				11	2	3	3	3	5
相川	6	4	3		1		1	8	4		1		2
佐和田	3	3	3						1	2	1		
金井	3	3	2					1	1	1			
新穂	1	1	1					1		1			
畑野	2	1	1	1				1		4			1
真野	4	2	2				1	1		3	1		1
羽茂	1	1	1							1			
赤泊	1	1						1		1			
合計	28	22	17	2	1	1	2	31	8	16	6	3	9

※小木地区では、火災の発生はありませんでした。

## 出火原因別

原因 種別	件数	件数の内訳												死傷者数	
		こんろ	たばこ	ストーブ	配線器具	電灯・電話等の配線	火入れ	かまど・風呂・	灯火	たき火	放火	その他	調査中・不明	死者	負傷者
建物	22	4	1	1	1	4		2	1	1	1	5	1	3	6
林野	2						2								2
車両	1											1			
船舶	1					1									
その他	2					1						1			1
計	28	4	1	1	1	6	2	2	1	1	1	7	1	3	9

お問い合わせ 消防本部予防課予防係 ☎ 5 1 - 0 1 2 3